

コミュニティソーシャル サポート(CSS)の活動とお願い

＜活動と目的＞

コミュニティソーシャル サポート(CSS・代表 高山れい子)は、わが国の少子高齢社会の進捗する状況下において、地域活性化に関わる調査研究・提案・提言・情報提供等の活動を推進することにより、心豊かな地域社会経済の発展と生活文化の向上に寄与することを目的とします。

＜これまでの経過＞

- ・そこで政令都市になって5年足らずの相模原市の関係者の要請により、同市の数多くの大学の知見を次世代への利活用にとの思いで、ユニコムプラザに籍を置き、同市の課題探しを中心に、当方の活動目的について追求。
- ・その結果 単にベッタウン機能だけでなく、自然環境に恵まれた広域交流中核都市として自立性を持って今後の重要課題である“超高齢社会と医療費の増大”に焦点を当てることにした。(H25年～)
- ・その対策としては治療よりは予防に適するウォーキングに着目し、既存の複数の関連協会の賛同を得た上で、ポールdeウォーキングさがみ(協議会)を設立。
- ・その独自性等のある活動方針が認められ、H27年に市との協働推進事業として、H28年度より3年間にわたって基盤づくりに着手することに至った。
- ・具体的には高齢者に適しているポールウォーキングを年間を通じて58回、体力のある年代向きにノルディックウォーキングを12回、合計70回の開催を計画しており、開催場所については両ウォーキング協会のコーチのアドバイスを元に、市の地域保健課と最終案を選定した。(H28年1月)

＜健康づくり普及員の協力のお願い＞

これらのポールdeウォーキングさがみを実施するにあたって、最も重要なのは開催時の運営事務局の質の確保である。参加者の受入れ体制は勿論、コーチが指導しやすく、且つ正確な体力測定等がスムーズに行えるような条件を満たす人員の確保が必要に迫られており、については貴会が最適任と思われ、健康づくり普及員の協力を仰ぐ次第です。
(各開催時に2名ずつの健康づくり普及員とコミュニティソーシャル サポート(CSS)からの事務局運営担当者1名の組み合わせで行う体制／ポールウォーキングの1回の参加数は15名を想定)
ぜひご協力をいただき、相模原市と市民が一体となって健康促進に努めたく何卒よろしくご協力申し上げます。